

てんしと ひつじ

クリスマスのおはなし



文/ソフィー・パイパー 絵/クリスティーナ・ステファンソン 訳編/女子パウロ会



Text copyright © 2000 Sophie Piper
Illustrations copyright © 2000 Kristina Stephenson
Original edition published in English under the title
The Angel and the Lamb by Lisa Robinson, Oxford, England.
Copyright © Lisa Robinson 2000
Japanese translation published by arrangement with
Lisa Robinson plc, Oxford, England through
Yumiko Agency, Inc., Tokyo
Published 2002 in Japan by Judd Publishers
Japanese edition copyright © Judd Publishers
Printed and bound in China

てんとひつじ



文/ソフィー・パイパー
絵/クリスティーナ・スナファンソン
女子パウロ会



ひつじかいのしょうねん ベンの かってるひつじのなかで
いちばんちいさな こひつじは、いつも ベンにびったりくっついて
どこに いくのも いっしょでした。
きょう、ベツレヘムのまちにいく みちは
どうして こんなに こんでいるんだろう？



「いったい なにが あったの？」と、ベンがききました。
「おうさまの めいれいでね、みんな やくしょに
なまえを とどけるんだよ。せいきんを はらえるひとの
かづを しりたいんだって。」

ひとたちが みんな いってしまうと、ペンがいました。
「よかった。こんやは おかひのこって
きらきらひかる おほしさまのしたで やすもうよ。
きっと まちには ひとがいっぱいだからね。」
ゆうひが しずみそらをそらには、
もう ほしが ひかりはじめていました。



そのとき、こひつじは きゅうに おもいつきました。
—— ベツレヘムに いくほうが おもしろそう！
よくかんがえもしないで、こひつじは さっと しげみに
とびこんで、なまががいてしまうまで
かくれていることにしたのです。



こひつじは
はしりだしました。



どんどんはしります。



もからいっばい
はしります。

さっきから こひつじには じぶんのなまえをよぶ ベンの
こえがあこえています。——よんでる。でも、ベンには
ぼくのこと みえない。そこで まっててくれればいいんだよ。



それから こひつじは ベツレヘムのほうへ
おりていきました。

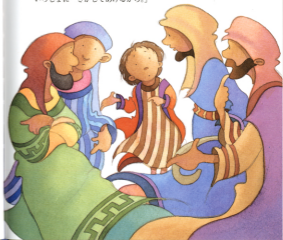




ペンは ゆっくりと おかを のぼったり
おりたり。さがして さがして ほかの
ひつじがいたものところに もどっていきました。
「ぼくのかひつじが みつからないの。さがしに行くから
ほかの ひつじたちを みてくれますか。」

ひつじがいたちは いいました。

「だめだよ。こんなにおそく。あふないよ。あさになったら
いっしょに さがしてあげるから。」



おひさまが さいごの ばらいろのひかりといっしょに
おかのむこうに しずんでしまうと、あたりは
だんだんくらくなりました。



こひつじは ベツレヘムについたかしら？
いいえ、こひつじは みちばたの いばらだらけのあなに
おっこちていたのです。

